

2026 年 10 月 16 日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

4～11 歳のヒップホップダンス実施人口は推計 52 万人 女子の年 1 回以上実施率は 12.3%と過去最高水準

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：渡邊一利 以下：SSF）は、2 年ごとにわが国の幼児から青少年までのスポーツの「実施頻度」や「実施時間」、「運動強度」などを調査し、現状を明らかにしてきました。

最新の 2025 年調査（「子ども・青少年のスポーツライフ・データ 2025」は 2026 年 4 月 9 日ご案内済）では、4～11 歳（未就学児、小学生）の年 1 回以上・ヒップホップダンス実施推計人口は 52 万人、男子 8 万人、女子 47 万人、実施率は全体 6.7%、男子 1.9%、女子 12.3%となりました。10 代（小中高生、大学生など）の実施人口は 64 万人、男子 8 万人、女子 55 万人と推計されます。

※実施：学校の授業や行事以外でヒップホップダンスを行った（部活動、習いごと、学校での休み時間等を含む）

※実施推計人口：全体・男子・女子ごとに推計値を算出し、それぞれで四捨五入を行っているため、端数の影響で男子・女子の合計と全体との差が生じている。

調査結果のポイント

【4～11 歳】

- 年 1 回以上のヒップホップダンス実施率：全体 6.7%、男子 1.9%、女子 12.3%
→男子は調査開始（2013 年）以来 2%前後で推移。女子は過去最も高い水準。
- 実施推計人口：全体 52 万人、男子 8 万人、女子 47 万人
- 就学状況別の実施率：小学 5・6 年（10,11 歳）7.7%が最も高い
- 週 1 回以上：実施率 全体 4.2%、男子 0.6%、女子 8.3%/推計人口 全体 33 万人、男子 2 万人、女子 32 万人

【10 代（小中高生、大学生など）】

- 年 1 回以上：実施率 全体 6.0%、男子 1.5%、女子 10.6%/推計人口 全体 64 万人、男子 8 万人、女子 55 万人

【主な調査結果】

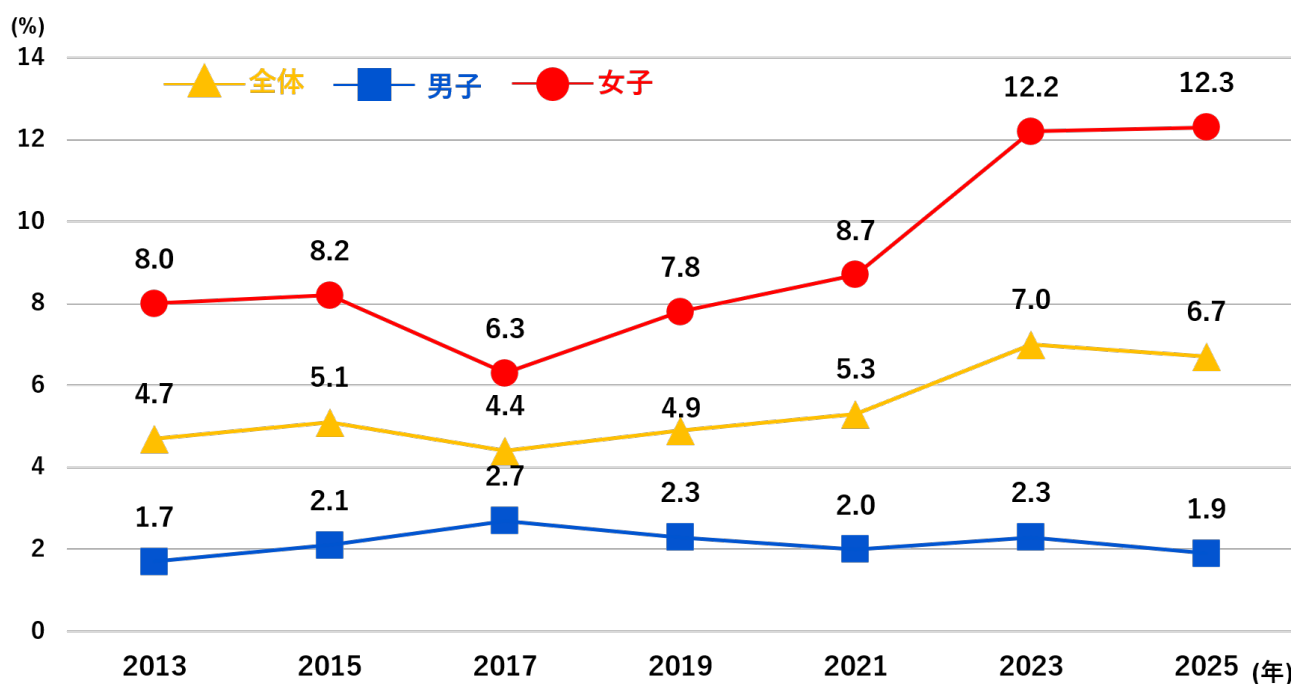
■年 1 回以上のヒップホップダンス実施率の推移（2013～2025 年）：全体・性別（4～11 歳）

2025 年の 4～11 歳の実施率は全体 6.7%、男子 1.9%、女子 12.3%であった。調査項目に追加された 2013 年と比べると全体と女子は増加傾向、男子は横ばいであった。実施率の推移は、全体では緩やかな増加傾向にあったが、2023 年から 2025 年にかけて大きな変化はみられなかった。男子は 2013 年以降、2%前後で推移している。一方、女子は 2017 年以降増加が続き、2025 年は調査開始以来最高の実施率となった。いずれの調査年度においても女子の実施率が男子を上回り、ヒップホップダンスは女子の支持が高い種目といえる。

【本件に関するお問合せ先】

笹川スポーツ財団 広報担当 清水
TEL：03-6229-5300 info@ssf.or.jp

図表 1. 年 1 回以上のヒップホップダンス実施率の推移 (2013～2025 年) : 全体・性別 (4～11 歳)



笹川スポーツ財団「子ども・青少年のスポーツライフに関する調査報告書」(2013～2025) より作成

■年 1 回以上のヒップホップダンス実施率・推計人口の推移 (2013～2025 年) : 全体・性別 (4～11 歳)

2025 年の 4～11 歳のヒップホップダンス実施推計人口は 52 万人と見込まれる。性別にみると、男子は調査を開始した 2013 年と同じ 8 万人、女子は 12 万人増加して 47 万人となった。

図表 2. 年 1 回以上のヒップホップダンス実施率・推計人口の推移 (2013～2025 年) : 全体・性別 (4～11 歳)

		2013	2015	2017	2019	2021	2023	2025
全体	実施率 (%)	4.7	5.1	4.4	4.9	5.3	7.0	6.7
	推計人口 (万人)	42	45	38	41	44	57	52
男子	実施率 (%)	1.7	2.1	2.7	2.3	2.0	2.3	1.9
	推計人口 (万人)	8	9	12	10	8	10	8
女子	実施率 (%)	8.0	8.2	6.3	7.8	8.7	12.2	12.3
	推計人口 (万人)	35	35	26	32	35	48	47

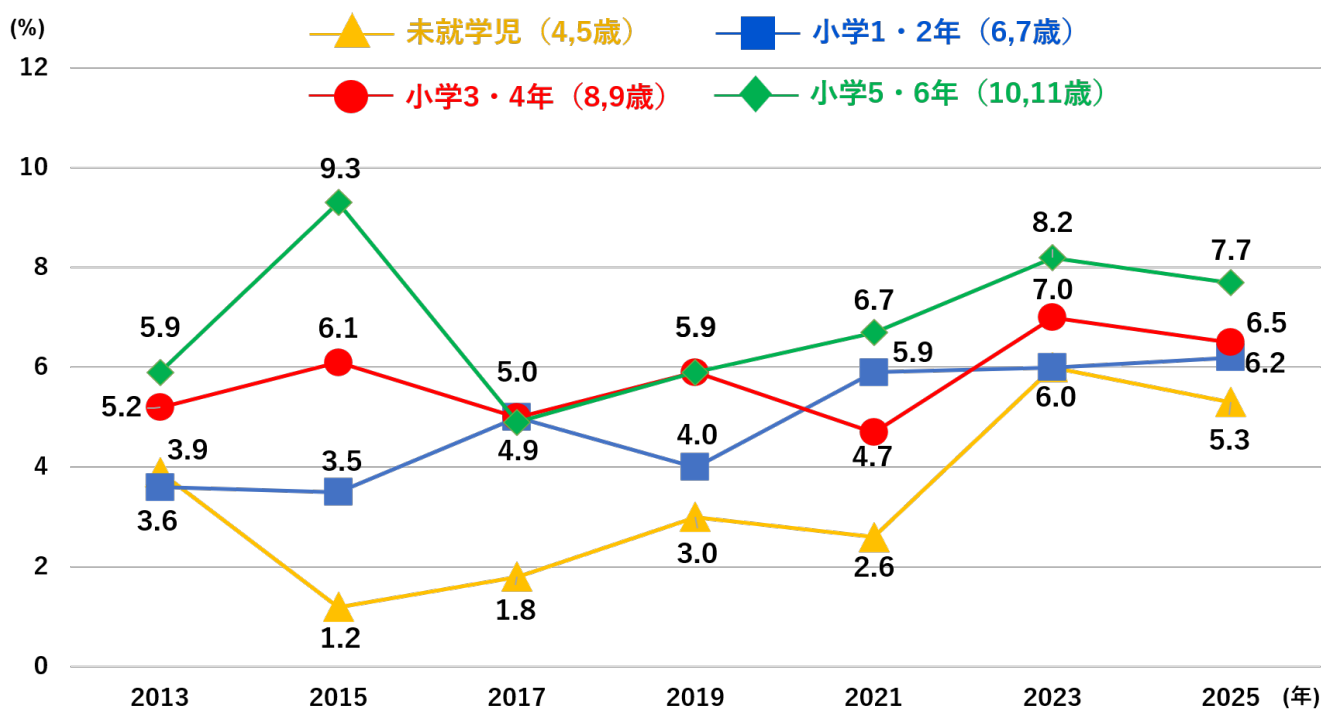
注 1) 推計人口は住民基本台帳 (4～11 歳) (人) に実施率 (%) を乗じて算出

注 2) 推計値を算出する際に端数が発生するため、全体の人口と男子・女子を合計した人口は必ずしも一致しない
 笹川スポーツ財団「子ども・青少年のスポーツライフに関する調査報告書」(2013～2025) より作成

■年 1 回以上のヒップホップダンス実施率の推移 (2013～2025 年) : 就学状況別 (4～11 歳)

就学状況別の実施率をみると、2025 年は小学 5・6 年 (10,11 歳) 7.7% が最も高く、小学 3・4 年 (8,9 歳) 6.5%、小学 1・2 年 (6,7 歳) 6.2%、未就学児 (4,5 歳) 5.3%と続いた。2017 年以降はいずれも増加傾向を示した。

図表 3. 年 1 回以上のヒップホップダンス実施率の推移 (2013～2025 年) : 就学状況別 (4～11 歳)



笹川スポーツ財団「子ども・青少年のスポーツライフに関する調査報告書」(2013～2025) より作成

■週 1 回以上のヒップホップダンス実施率・推計人口の推移 (2013～2025 年) : 全体・性別 (4～11 歳)

全体の週 1 回以上の実施率は、2013 年以降増加傾向にあり 2025 年は 4.2%であった。男子は、2013 年から 1%前後で推移し大きな変化はみられない。女子は 2013 年の 4.6%から 3.7 ポイント増加して 2025 年は 8.3%となり、年 1 回以上と同様にいずれの調査年度でも男子の実施率を上回っている。

2025 年の実施推計人口は、全体 33 万人、男子 2 万人、女子 32 万人となった。

図表 4. 週 1 回以上のヒップホップダンス実施率・推計人口の推移 (2013～2025 年) : 全体・性別 (4～11 歳)

		2013	2015	2017	2019	2021	2023	2025
全体	実施率 (%)	2.7	2.2	3.1	2.9	3.3	4.1	4.2
	推計人口 (万人)	24	19	27	25	27	33	33
男子	実施率 (%)	1.0	0.7	1.6	1.1	1.2	0.9	0.6
	推計人口 (万人)	5	3	7	5	5	4	2
女子	実施率 (%)	4.6	3.7	4.8	4.8	5.4	7.7	8.3
	推計人口 (万人)	20	16	20	20	22	30	32

注 1) 推計人口は住民基本台帳 (4～11 歳) (人) に実施率 (%) を乗じて算出

注 2) 推計値を算出する際に端数が発生するため、全体の人口と男子・女子を合計した人口は必ずしも一致しない
 笹川スポーツ財団「子ども・青少年のスポーツライフに関する調査報告書」(2013～2025) より作成

■年1回以上のヒップホップダンス実施率・推計人口の推移(2013～2025年)：全体・性別（10～19歳）

2025年の10代（小中高生、大学生など）の実施率は全体6.0%、男子1.5%、女子10.6%であった。実施率の推移をみると、全体では2017年にやや低下したものの、その後は緩やかな増加傾向にある。男子の実施率には大きな変化はみられないが、女子では2013年8.4%から増加し、2021年以降は10%前後を維持している。いずれの調査年度においても女子が男子を上回る。

2025年の実施推計人口は64万人と見込まれた。性別にみると、男子は調査を開始した2013年から5万人減少して8万人、女子は6万人増加して55万人であった。

図表5. 年1回以上のヒップホップダンス実施率・推計人口の推移(2013～2025年)：全体・性別（10～19歳）

		2013	2015	2017	2019	2021	2023	2025
全体	実施率（%）	5.1	5.1	4.3	4.9	5.5	5.8	6.0
	推計人口（万人）	61	60	50	56	61	63	64
男子	実施率（%）	2.2	2.0	1.9	1.7	1.2	2.2	1.5
	推計人口（万人）	13	12	11	10	7	12	8
女子	実施率（%）	8.4	8.3	6.8	8.3	9.9	9.8	10.6
	推計人口（万人）	49	48	38	46	54	52	55

注1) 推計人口は住民基本台帳の10代人口（人）に実施率（%）を乗じて算出

注2) 推計値を算出する際に端数が発生するため、全体の人口と男子・女子を合計した人口は必ずしも一致しない
 笹川スポーツ財団「子ども・青少年のスポーツライフに関する調査報告書」（2013～2025）より作成

【「子ども・青少年のスポーツライフ・データ 2025」調査概要】

調査項目：運動・スポーツ実施状況、運動・スポーツ施設、スポーツクラブ・運動部、習いごと、スポーツ観戦 等

調査対象：全国の市区町村に在住する4～11歳・2,400人／12～21歳・3,000人

調査方法：訪問留置法による質問紙調査（4～11歳は個別聴取法併用）

有効回収数（率）：4～11歳・1,320（55.0%）／12～21歳・1,438（47.9%）

調査時期：2025年6月28日～7月23日